

# 郷音 ~ KOURU ~ 流

どう  
ち  
同治

旅立っていかれた方々の足跡をたどり、私もまたこの人生を歩んでいる。老病死の事実を背負い歩むこの道は、もしかしたらつり橋のように不安定なものかもしれない。

しかし、先立たれた方がどう生きどう歩まれたのか…。その姿に思いを巡らせ手を合わせる時、大丈夫と私に語り掛ける懐かしく優しい声が思い出される。そしてその声は、私の人生の伴走者になって下さっている。

一人で歩むことのできぬ道も、ともに歩んでくださる方がいれば、一步踏み出すことができるのではないかと思う。

高萩市にある花貫溪谷のつり橋にて清流の音を聞き、自然の美しさを満喫しながら自身の人生に思いを馳せてみた。

ひたちなか市清心寺増田廣樹

写真：ひたちなか市 光泉寺 大内光



# ひと



那珂市レクリエーション協会会員 × 那珂市 上宮寺 坊守

## 鷺元 由香さん

乗り気じゃなかった子が

楽しそうに笑ってくれるのって嬉しいですよ

### レクリエーションへの関わり

結婚を機に京都から茨城にやってきたのは10年くらい前です。

入寺した上宮寺のご門徒さんと義母がレクリエーションの活動をしているので、自然と私も参加するようになりました。

昔から子どもと関わる活動が好きだったんです。

子どもの時に、周りの子どもも通っているからという理由で本願寺(京都にある浄土真宗本願寺派の本山、通称 西本願寺)の日曜学校に参加していました。この時にスタッフのお兄さんお姉さんがみんな一緒に遊ぶのを毎週企画してくれて楽しかったんです。そんなお兄さんお姉さんにあこがれたんですかね。いつか子どもたちと一緒に楽しい時間を作り出せるようになりたいと思うようになり、龍谷大学へ進学し宗教教育の活動に関わるようになりました。

今はその時の経験も活かしつつ那珂市レクリエーション協会の会員として、市が主催する子どもものつどいや学校参観日でのイベント、老人ホームなどで活動しています。

### 誰でもどこでも楽しめる

レクリエーションを一言で表すとしたら「誰でもどこでも楽しめる、何もなくとも楽しい時間が過ごせる活動」でしょうか。

紙コップ一つ、新聞一枚、洗濯ばさみ一個、なんだった遊び道具になりました。手遊びだって面白いんですよ。

子どもと一緒にだったらじゃんけんから始まって、チームに分かれてのボール送り、新聞紙を千切って長く伸ばす遊び、紙コップ積み上げレース、新聞紙送り競争など、どんな遊びでもできます。紙コップを高く積み上げる

遊びは芸術的な出来栄になることもあるんですよ。みんなで手をつないだままフラフープをくぐる遊びは盛り上がりますね。

### 私もうれしい

どうしてもみんなで遊ぶのが苦手な子やレクリエーションに抵抗感のある方もいます。その人に、この時間をいかに楽しく過ごしてもらえるか、考えることがモチベーションです。

つまらなそうにしている子がいたら、雰囲気の違いゲームに変えたり、人間関係に忘れてチームを組みなおしたりして、「加わりたくない」と思ってもらえるように工夫しています。フラフープのゲームとかは体だけではなく頭も使うので、「どうしたら上手くいくかな」と聞いたりすることで自分もチームの一員なんだという実感を抱いて貰えるようにしています。

つまらなそうにしていた子に笑顔が増えると私もうれしくなりますね。



### Profile

元 由香

趣味・特技：美味しいコーヒーを入れること

好きなもの：おやつスナック

好きな言葉：笑顔

これからは  
コロナ禍で人と人が接近することが難しくなりました。私たちも触れ合う遊びを制限しています。それでも謎解きなど出来る遊びはたくさんあります。レクリエーションを通じて少しでも楽しい時間を共有出来たらうれしく思います。  
是非家庭でも身近なものを使って挑戦してみてください。さい。

問1

外	系	海	休
---	---	---	---

⇒「楽しい」

貝	左	勇	脳	帰
---	---	---	---	---

⇒「???'」

最終問題

① ② ③ ②

問2

緑が寺、オレンジは仏なら  
ピンクは？

レクリエーションで出した謎解きです。是非解いてみてください！  
(回答はページ左下)



聞き手：水戸市 安楽寺 澤田唯

「慈心相向、仏眼相看、同帰浄国、共成仏道」という言葉がある。7世紀の中国で活躍された「善導」という念仏僧の『観経疏』の末尾の文だ。「慈しみの心で接し合い智慧の眼で看合い、浄土への人生を共にし仏の道を成就しよう」という意味だ。

「あなたがうれしいとわたしもうれしい」  
”疑“の多い人の世において”慈“の心を完成することは難しいが、怨親平等の極楽浄土を恵んでくださった如来様への報恩行として”慈“の行動を大切にしたい。阿弥陀如来が業深き私たちを慈しんでくださるのと同じように。



～茨城の念仏道場を尋ねて～

# 正念寺



常陸太田市金砂郷地区は、県内でも屈指の「そばどころ」だ。金砂郷地区の久米にある正念寺は、なだらかな坂を上った高台にある。晩秋の正念寺は紅葉した木々に抱かれるように悠然と構えており、参道から見える田園では、稲の孫生えが黄金色に輝いていた。

## 明治36年までの寺号は願入寺

正念寺は宗祖親鸞聖人の孫、如信上人開基の寺である。弘安3(1280)年、如信上人が大綱の地(現福島県古殿町)に草庵を建てたことがその始まりで、最初の寺号は願入寺であった。願入寺は歴代の住職と共に、戦火を避けるため各地を転々とした後、文禄元(1593)年、12代如正の時代に、太田城主であった佐竹義宣の招きにより、現在の久米の地において本堂を建てたと言われている。15代如高の時代に水戸藩主徳川光圀の命により祝町(現大洗町)に本堂を移したことで、以降は久米願入寺と呼ばれるようになった。その後、久米願入寺は200年程住職がない寺となるが、今の住職の曾祖父が入寺し、東京麻布に名前だけ残っていた「正念寺」に寺号を変え今に至る。

## 時代に対応した新しい試み

「これからも永く、ご門徒さんご縁をつなげていけたらなと思います。」そうにこやかに話す佐竹知信住職は平成6年に先代から正念寺を引き継いだ。



それから28年、今の時代に対応した新しい試みを取り入れ続けている。一つはインターネットを利用した、法要や法事のリモート中継だ。「昨今はコロナウイルス感染症拡大の影響で、法要に来られない方や、都会に出てしまっただけで法事に出席できないという方もいらっしゃるのです、そういう方々ともご縁を切れないようにしたいという思いがあって始めました。」以前、本堂には誰もいなくてインターネット中継だけのご法事があったときは、いつもとは違う雰囲気があって新鮮でしたよ。」と住職は笑う。

## 気軽に来られるお寺でありたい

他にも正念寺では、一度お寺の本堂に座ってほしいという思いから、コンサートや落語会を企画してきた。4年前から始めたこの企画は、コロナウイルスが流行する前は本堂が一杯になるほどの人気ぶりだったという。「コンサートや落語会を開くことで、お寺は葬儀と法事だけじゃないし、近寄りやすい場所じゃないんだってことを知ってもらえたら嬉しいですね。」と住職は語ってくれた。

刈り取った稲から伸びる孫生えのように、名前は変わっても、正念寺はそこからまた新しい歴史を作っていく。

聞き手：行方市 豊安寺 板敷諒

茨城東組広報誌『響流』第十三号

二〇二二年三月発行

発行／浄土真宗本願寺派茨城東組実践運動

〒三一三-〇一二三

常陸太田市久米町二〇一 正念寺内

編集／茨城東組 阿闍世の会